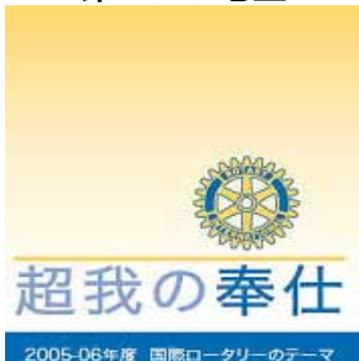


R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT



水海道ロータリークラブ

本年度クラブテーマ

ENJOY ROTARY

SERVICE Above Self

2005-06 年度 国際ロータリー会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

例会予定

8月3日

会員増強委員会卓話

8月10日

休会 (定款第5条第1節により)

8月17日

外部卓話 元大洋村村長殿

8月24日

オーストラリア夏季交換学生帰国挨拶

7月は識字率向上月間です

VOL. 43 No.4 (通算No.2044)

2005年7月27日(水)例会プログラム
 点鐘
 ロータリーソング
 ビジター紹介
 出席報告
 SAA報告
 諸報告
 幹事報告
 会長挨拶

オーストラリア夏季交換学生出発挨拶



隅屋会員と一年交換学生の JULIANE さん

2005～2006 年度

会長 青木 清人

幹事 熊谷 昇

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30

0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

* 会長挨拶

* 2005 - 2006年度 事業計画発表
各委員会委員長

ピジター

一年交換学生 JULIANE ANDRADE MONTECHEZE さん
皆さん、こんにちは。日本に来て4ヶ月経ちます。今日は私の誕生日です。学校はとても楽しいです。夏休みになりました。

誕生祝 おめでとうございます。
JULIANE ANDRADE MONTECHEZE さん



諸報告

ロータリーファミリー会員増強委員会 (隅屋祐三委員長)
提案箱を用意しましたので、新入会員の推薦をお願いします。

職業奉仕委員会 (山崎進朗委員長)
先週お願いしました、3分間スピーチ(自分の職業)の原稿を7月27日までをお願いします。

新世代奉仕研究会の報告 (熊谷 昇幹事)
7月17日につくば国際会議場で開催され、秋田新世代育成ならびにライラ委員と一緒に参加してきました。インターアクト、ライラ、ローターアクトの3委員会より報告があり、特にローターアクトの金子委員長より、会員の拡大に御協力を頂きたいということです。

幹事報告 (熊谷 昇幹事)

週報受理 守谷RC

例会変更通知受理 しもだて紫水RC 7月30日(土) 移動例会 稲荷町通り足銀駐車場
8月16日(火) 休会
8月30日(火) 午後7時より ホテルニューつたや

クラブ名称の変更……東海ロータリークラブが東海那珂ロータリークラブへ名称変更

会長挨拶 (青木清人会長)

皆さん、こんにちは。一年交換学生のジュジュさん、お誕生日おめでとうございます。また、ようこそお見えになりました。会員一同心より歓迎申し上げます。

まず、先週新会員候補として、倉持功典さんを公表させていただきましたが、7日が過ぎ文書での異議申し立てが無いので、新会員として承認したいと思います。8月3日(水)に入会式を行います。

次に、先週の15日(金)8分区第一回会長・幹事会が牛久で行われました。熊谷幹事と出席してまいりました。議題としては、

1. 各クラブ公式訪問およびクラブ協議会の日程について……10月12日(水)クラブ協議会、
10月19日(水)公式訪問
2. IMの開催について……2月4日(土)
3. 分区内の親睦会について……ゴルフ大会(10月~11月、金乃台カントリークラブ)、観桜会(なし)
4. ガバナー事務所より9月3日(土)三の丸ホテルにおいて、クラブ奉仕研究会(女性会)への助成依頼 萩原ガバナーより、国際ローリーの会員数は約1,200,000名その内女性会員は12.5%、日本は3%実

績であります。日本におけるロータリアンの推移を見ると、2000年7月における会員数は119,000名、その内女性会員は2,300名、一方2005年3月における会員数は103,000名で16,000名減少していますが、女性会員は3,300名と1,000名増加しています。

萩原年度は、現女性会員68名を100名に増強したいという目標が提示されています。クラブ奉仕委員会としては、59クラブ中、女性会員が所属しているクラブは25、無所属のクラブ34の構成になっています。これらの実態を踏まえ9月3日に女性会員を中心に、非会員(知人、友人)の方々に幅広く参加を呼びかけていただく中で女性研究会を開催したいと考えています。

ところで、36年前の今日は、人類が地球以外の地に初めて踏み出した、あのアポロ11号の阿姆斯特朗船長が、月の大地に降り立った日です。第一声は「この一步は小さいが、人類にとって偉大な躍進だ」テレビ画面を通じて日本中がこの人類史上最大のショーを同時体験したのを思い出しました。私は10代でした。今夜は、雲が無ければ満月が見えます。雑念を振り払い当時に思い出すなり、宇宙の神秘に浸るなりしてみるの如何でしょうか。

2005 - 2006年度 事業計画発表

米山記念奨学会 (田上秀雄委員長)



米山記念奨学会は、ロータリー所在国からの外国人留学生に対して奨学金を支給し、ロータリーの理想とする国際理解と、親善に寄与する事を目的としています。

当クラブでは、本年度も筑波大学生孫 洋さんを迎え、私もカウンセラーとしてクラブ会員全員で対話と親睦の機会を数多く持っていきたいと思います。本年度の基本計画として、2項目を挙げさせて頂き活動していきます。

1. 10月の米山月間の例会に米山記念奨学会の事業の詳細について会員の皆さんに説明し、理解と寄付の御協力をお願いしたい。
2. 特に新入会員の皆さんには、継続で小額でもよいから協力をお願いし、クラブの普通寄付金もとより、個人特別寄付金を一人でも多く増やしたいと考えております。

ロータリー情報委員会 (田中正躬委員長)



当委員会は、ロータリーの会員に情報を周知徹底させるという、重要な責務を持っております。そのためにはCICOをはじめ、各委員会と密接な連携を保ちつつ、新入会員にはロータリーに対する理解を深めるよう、情報の提供に努めたいと思っております。そのために次の事項について実践を図る所存です。

1. ロータリーの用語解説、最新情報などを会報の一部に載せ、ミニ情報としていきたい。
2. 新入会員とベテラン会員との交流の場(シンフォーマルミーティング)をもって、ロータリーに対する理解を深めたい。
3. 前委員会で作成した「ロータリーの手引き」を活用して、新入会員研修の具とするのは勿論、入会勧誘の時にも大いに利用するようにしたい。

CICO委員会 (五木田利明委員長)

「IT活用によるクラブ内外のネットワーク化の推進」を目指せとあります。RI、RJW、地区ホームページからの情報を会長等に速やかに報告することも必要ですが、より広く多くの方々にIT活用を促したい。



出席委員会（白井 豊委員長）



本クラブ例会出席は会員の義務である。出席率の良否はクラブの活性化に大きな影響をもたらす。プログラム委員会やその他の委員会の協力を仰ぎ、出席率の向上につなげる。

本年度に新入会員として迎え入れる人には、ロータリーに対する正しい理解を促せば結果として退会防止にもなる。

1. 出席しやすい環境作りに努める。
2. あらゆるロータリーの会合(地区大会、IM等)への参加を勧める。
3. 近隣クラブの例会日、例会場の情報を提供し、メイクアップの積極的な奨励。
4. 出席率100%会員の表彰を行う。
5. 連絡なし欠席を無くすように努める。

クラブ会報委員会（横山 修委員長）

クラブ週報の発行に当たり、確実な情報の記録を行い、会員相互の理解と親睦を深める事に努める。

1. 週報の発行に対して、会長ワンポイントメッセージの通り、週報の内部充実・クラブ歴史・記録の充実に努める
2. 会員相互の理解親睦の為、会員の投稿記事・各委員会の活動内容・国際ロータリー地区情報の掲載等の記録の充実に図る。



親睦活動委員会（瀬戸隆海委員長）



クラブ会員の融和をもって、各委員会が奉仕活動できるよう、また、ロータリーファミリーの精神にのっとり、それぞれの家族の親睦を持つことは、クラブの活性化に欠かせない条件と考え、以下のような事業を企画しこの一年間の委員会活動を行っていききたいと思います。

1. 例会においての、ゲストの紹介、会員・配偶者の誕生祝の実施
2. 家族親睦納涼会の実施(8月)
3. 忘年会の実施(12月)
4. 新年会兼ワンディホスピタリティーの実施(1月) 国際奉仕委員会と合同
5. 家族親睦ゴルフ大会の実施
6. 観劇会の実施(5月)

プログラム委員会（武藤康之委員長）

会員の皆様に楽しんで頂き、また役に立つ例会内容を心掛けます。今年度は、外部卓話を多く取り入れ、より充実した例会にします。



S A A（石塚克己SAA）



今年度はクラブ方針のEnjoy Rotaryのとおり、例会やその他の行事が皆さんに楽しんでいけるよう様々な心配りをしていきたいと思えます。

1. 昨年度同様、例会場の気品と風紀を守り、例会が楽しく且つその使命を發揮できるよう設営致します。
2. 様々な“おもてなし”を考え、ロータリーの基本活動である例会を大切に(例:昼食時BGMの導入)
3. 例会欠席連絡網を密にし、弁当の余りという無駄をなくし、前期・後期

4回のミールボックス(弁当代の簡素化)を導入し、経費節減に取り組みます。

4. クラブ奉仕活動に必要なニコニコボックスへの御協力をお願い致します。(身近な話題を取り上げて頂き、普段着のロータリアンを教えていただければと、期待しています。)

社会奉仕委員会 (染谷秀雄委員長)



本年度、社会奉仕委員会では継続事業で行われてきた薬物乱用防止の為に「ダメ・ゼッタイ運動」を行うと共に、昨年度も実施しましたグランドゴルフ大会の支援を委員会の事業として行きたいと思っております。

また、萩原ガバナーが強調事項として掲げている水保全、保健問題そして、識字率の向上を目的とした事業を1クラブ1プロジェクトの企画委員会を立ち上げ、企画し実行したいと思っております。

1. シンナー、麻薬等の薬物乱用を目的とした「ダメ・ゼッタイ」運動の実施
2. グランドゴルフ大会の支援
3. 環境問題をテーマとした勉強会の実施
4. 識字率向上を目的とした事業への参加および協力
5. 1クラブ1プロジェクトの企画および実行

新世代奉仕委員会 (福田克比古委員長)



昨今の若い世代の現状を鑑みると、大変憂慮すべきことであり、今後新世代奉仕委員会が担う務めは多大と考えられます。従って、当委員会として何が出来るのか検討のうえ、活動を進めていきたいと思っております。更に会長ワンポイントメッセージを踏まえ、社会奉仕委員会が進めるプロジェクトに前面協力していきたいと思っております。

1. ボーイスカウト、ガールスカウト活動の助成
2. ライラセミナーへの積極的な参加を促す
3. 社会奉仕委員会プロジェクトへの全面協力

国際奉仕委員会 (北村陽太郎委員長)



本年度、国際奉仕委員会はこれまでに行われてきた国際青少年プログラムを継続し、青少年の国際観の育成を目指した活動と、国際奉仕としての新しい事業を企画、実行したいと思っております。

1. ツウンバRCへの交換学生4名の派遣(8月)
2. ツウンバRCからの交換学生の受入
3. 米山奨学生(中国)の受入
4. WCSへの協力
5. 地区の一年交換学生(ブラジル)の受入
6. GSE(トルコ)の協力
7. 新事業の企画、実行(識字率向上・教育)

出席報告 (白井 豊委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク
48名	40名	8名	0名	1名

出席率 85.42%

ニコニコボックス (石塚克己 S A A)

- ・誕生祝御礼 石塚(利)会員
- ・梅雨明けです。夏本番、おいしいものを食べ、ビールで乾杯しましょう。 青木(清)会員
- ・梅雨明けです。皆様熱中症に注意、ご自愛下さい。褒められました。 熊谷会員
- ・いよいよ夏本番です。体を大事にしましょう。 青木(正)会員
- ・4人目の孫が誕生致しました。 松坂会員
- ・後、残り345日となりました。青木会長頑張ってください。また、交換学生のジュジュ、お誕生日おめでとうございます。 鈴木(豊)会員
- ・今日は、ジューの誕生日です。 瀬戸会員
- ・宜しく。 島田会員
- ・常陽銀行改修中で、皆様にご迷惑をおかけします。 染谷(昭)会員
- ・新世代奉仕研究会に熊谷幹事に代理出席して頂きました。有難うございました。 福田会員
- ・例会欠席しました。 五木田・山野井・染谷(秀)・飯塚・田上・大塚 各会員
- ・その他 横山会員
- ・今年の水海道祇園祭は、栄町が当番町会でした。大きな事故等もなく無事終了し、ホッとしています。
穂戸田会員
- ・五木田会員ご令嬢様のピアノリサイタルに行ってきました。大変素晴らしい演奏で感動しました。
石塚(克)会員

入金計 ￥47,000 累計 ￥320,000

ロータリー情報委員会より 一口メモ

Active Member「正会員」:職業分類の下にクラブ会員として選ばれ、RI定款、細則に定められた会員としてのすべての義務、責任および特典を有するクラブ会員。

会報委員会 委員長 横山 修 副委員長 山野井周一 委員 根本恒夫

超我の奉仕のもと識字率の向上を RIニュースより

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん:

新しいロータリーの年、私たちのロータリー史上、第2世紀の最初の年へようこそ。今こそ、ロータリーの新しい歴史書の第1章を書き始めるときです。そして私たちは「超我の奉仕」を通じてそれを行おうではありませんか。

2005-06年度、主な2つの強調事項は、識字率向上と水保全 健康 飢餓追放です。加えて、公共イメージ向上に焦点を合わせています。それぞれの分野の専門知識をもったロータリアンたちによって構成された支援グループは、各クラブや地区のプロジェクト立案を支援するための準備を整えています。

読む能力は欠くことのできない要素

7月、識字率向上月間です。スウェーデン バスタドロータークラブ会員で、子どもと、成人双方への読書教授法の調査研究と方法論の分野での国際的な権威、イブ マルムキスト氏は、1985年に、次のように記しています。「読む能力は人々が生きていくために欠かすことのできない要素です。読み書きを学ぶ機会を与えられなかった人は、個人的にも社会生活においても、一人前の人間として過ごすことはできません。どうしてでしょう? それは言葉が考えるための道具だからです。人は何かを考えるために単語を使います。意思を表すための単語とそれらをどのように組み合わせるかを学べば学ぶほど、その人の考え方はより高度なものになります。言葉を理解し、習得することは教育の基礎です。だからこそ生きていく上で欠かすことのできない要素なのです」

この記述はまさにその通りであり、そして、私たちが「超我の奉仕」を通してこの問題と取り組めるということはいかに幸せなことでありましょうか。識字率向上は、ニーズの多い巨大な分野なのです。